

# 令和4年度 養護教諭研究部会 研究計画（案）

研究テーマ 「生涯にわたり主体的に健康課題の解決に取り組む子供の育成」  
～養護教諭の専門的力量的向上を目指すことで健康教育の充実を図る～

## 1 研究の目的

近年、社会環境や生活環境が急激に、しかも大きく変化し続けている。子供を取り巻く状況も同様に、多様化・複雑化が進んでおり、それが子供の心身の健康に大きな影響を与えている。このような現代を生きている子供がたくましく生き抜くためには、課題解決には何が必要であるのかを自分で考え判断し主体的に取り組むことができる力が必要であり、大切な自分のために、その力を発揮しようとする子供を育てていかなければならない。

また、養護教諭は、「チームとしての学校」の中で、専門性を発揮し健康教育を総合的に推進していくことが求められている。そのためには、養護教諭自身の力量を向上させることで、さらなる健康教育の充実を図らなければならない。そして、生涯にわたり主体的に健康課題の解決を目指そうとする子供の育成を目的とし本部会の研究を進める。

## 2 研究の方向

これまで本部会では、養護教諭の専門性を追究することを研究の柱として取り組んできた。加えて、これまでに高めた専門性を「チームとしての学校」の中で発揮し、現代的な健康課題に主体的に向き合い、課題解決の方法を見出していける力をつけた子供の育成を目指してきた。そのような中で養護教諭が専門的力量的を発揮し「チームとしての学校」の中での力を高めるために、養護教諭一人一人の資質向上を図ってきた。

しかし、目の前の子供が、この複雑化・多様化した現代社会の中でもたくましく生きていくためには、自ら課題解決をしようとする力を育てることが最も大切であると考え、今年度より研究テーマを子供の育成に視点を変えた。目指す子供の姿が明確になっていけば、おのずと養護教諭がどのような力をつけることが子供の育成につながるかが明らかになってくると考えた。

令和元年度より今後の研究の在り方について様々な検討がなされた。目の前にいる子供にどのような健康教育を進めていくかは、それぞれのところで違いがある。今年度より新しい研究サイクルが始まるが、研究の推進は自分たちが最も「今、この力を子供に付けたい」と考えるものに取り組んでいくことが、子供の主体的に健康課題を解決する力になっていくと考え、3年後の研究大会では研究課題はそれぞれの郡市の課題に合わせたものにする。今年度はそのスタートとなるときであるので、目の前に子供に必要な力は何かを十分吟味して研究を進める。

また、研究を進めるにあたり養護教諭が自身の資質向上を図っていくことも必要である。求めるものは、養護教諭の経験年数や研究課題から考えても様々であるため、今年度は研修会をセミナー方式で実施する。いくつかのテーマの中で自身が一番付けたいと考えるものを自ら選び、健康教育を推進していく力をつける場としたい。

さらに運営の面では、経験年数の異なる養護教諭同士が合同で研修を行うことができる「各郡市の養護教諭研究部会」の充実を図る。また、昨年度に続きオンラインシステム、デジタル機器を有効に活用し、コロナ対応も含めながら、養護教諭自身の資質向上に力を注ぐことができる環境を整えていくことも求めていきたい。

## 3 今年度の研究について

### (1) 岐阜県養護教諭研修会の開催

日時：令和4年8月23日（火）13：00～16：00 オンラインにより開催

### (2) 郡市養護教諭部会の充実

- ・喫緊の課題解決に向けた研修、実践交流等（郡市養護教諭部会での学び合い）
- ・郡市研究及び部会の充実に向けた実践交流（他郡市からの学び合い：代議員会）
- ・郡市研究報告をHPにて紹介（他郡市からの学び合い）
- ・「ようご」発行

### (3) 来年度以降の研究構想

- ・研修会（講演会）の企画、運営

# 岐阜県養護教諭研究部会 研究のあゆみ

【研究テーマ】 **生涯にわたり主体的に健康課題の解決に取り組む子供の育成**  
(R4～R6年度) ～養護教諭の専門的力量的向上を目指すことで健康教育の充実を図る～

【目指す子供の姿】 自らの健康課題を解決し、生涯にわたり健康で過ごすことができる子。

○心身の健康に関する知識、技能 ○自他共に大切にしようとする心 ○自ら意思決定、行動選択する力 ○他者と関わる力

《求められる養護教諭の専門的力量》

・専門的な知識、技能 ・確かな判断力と対応力 ・課題解決するための指導力 ・企画力、実行力、調整能力

研究推進委員会(平成30年度～)  
研究大会に向けて、研究の推進  
及び調整を目的とする。

## 令和6年度 研究大会

分科会 発表郡市の喫緊の健康課題

ポスター発表

テーマ: **生涯にわたり主体的に健康課題の解決に取り組む子供の育成**

～養護教諭の専門的力量的向上を目指すことで健康教育の充実を図る～

※これまで郡市で取り組んできた研究実践について学び合う機会とし、その成果と課題を検証する。

令和6年以降の研究につなげ、新たな養護実践の創造をする。

## 令和5年度 研修会 講演会

演題 及び 講師 「 未定 」

令和4年度 研修会 セミナー研修: 6つのセミナーに分かれ、希望した2つのセミナー参加

ねらい ①専門的な知識・技能の向上を図る

②確かな判断力と対応力を身に付ける

令和2年度 研究大会(開催: 令和3年度) Web開催

テーマ: 「養護教諭の専門的力量的向上を目指す

～主体的に健康課題の解決に取り組む子の育成～」

分科会 【保健教育】【健康相談】【保健安全・安全管理】

ポスター発表(ポスター発表・動画発表)

令和元年度 研修会 講演会

演題: 「チーム学校における養護教諭の実践の在り方」

講師: 静岡大学 教育学部教授 鎌塚 優子 氏

平成30年度 研修会 講義・実践発表

テーマ: 健康と命を大切にする健康教育を推進するために

～がん教育を通して学び合う～

研究大会(平成29年)

分科会 【保健教育】【健康相談】【保健安全・安全管理】

研究大会(平成17年・20年・23年・26年)

分科会 【保健教育】【健康相談】【組織活動】

研究大会(平成11年・14年) 分科会

【心】【保健室経営】【性】【保健指導】【組織活動】

平成21年度 全国養護教諭研究大会

岐阜県大会

研究の成果を全国へ発信し、県内養護教諭の資質向上の好機となった。

〈養護教諭の専門的力量的向上・部会の活性化〉

〈 部会の発展 〉

**【研究テーマ】**

生涯にわたり主体的に健康課題の解決に取り組む子供の育成  
～養護教諭の専門的力量的向上を目指すことで健康教育の充実を図る～

**【目指す子供の姿】**

自らの健康課題を解決し 生涯にわたり健康で過ごすことができる子

- 心身の健康に関する知識・技能
- 自他共に大切にしようとする心
- 自ら意思決定・行動選択する力
- 他者と関わる力

**【研究の過程】 ※3年サイクルでなくてもよい**

1：研究構想立案と予備実践

2：研究構想の修正と本実践

3：研究成果の検証と発表

- ①指導計画と指導内容・方法 ②連携・協働・体制づくり ③養護教諭の専門性と役割 ④研究成果の検証と評価方法

**郡市研究** 研究テーマ 内容：郡市の現状や課題に合わせて計画し推進する。

**【郡市研究部会：研究計画<例>】**

- 研究の目的：主体的に健康課題解決のために行動できる子の育成
- 研究の方法：養護教諭が、学校保健活動を基盤とした専門的な知識・技能を生かし、指導力・企画力・実行力・調整能力を発揮した健康教育の在り方を探究する。

**個人研究** 研究テーマ 内容

※郡市研究及び個人研究は、県の研究テーマを受けて実践する。

**【県養護教諭研究部会：事業計画】**

**令和4年度 研修会**

- 内容 テーマ別研修会  
ねらい
- ①専門的な知識・技能の向上を図る
  - ②確かな判断力と対応力を身に付ける

**令和5年度 研修会 講演会**

内容 講演会

演題及び講師：未定

**令和6年度 研究大会  
分科会・ポスター発表**

分科会の課題は発表郡市の  
喫緊の健康課題

「一人で、みんなで」学び続け

「チームとしての学校の中で」力を発揮する養護教諭

《求められる専門的力量的》

- ◇専門的な知識・技能
- ◇確かな判断力と対応力
- ◇課題解決するための指導力
- ◇企画力・実行力・調整能力

**【常任委員会・代議員会】**

《会員情報共有》

- ・ホームページ更新
- ・研修会参加
- ・ようご発行

《調査研究》

- ・関連調査 など

《研究推進リーダー（代議員）の役割》

- ・各郡市における研究・研修の主導
  - ・個人研究への協力
  - ・経験年数10年未満の養護教諭の指導・育成
  - ・郡市研究計画交流
- ねらい 県研究部会の研究構想, 方向性を理解し郡市の研究との整合性を図る。郡市の特色を生かしながら研究テーマの具現化のための具体的方策について提案する。

**【研究推進委員会】**

《目的》

本研究部会の研究の推進及び調整

《内容》

- ・研究大会の研究協議会（分科会）の企画
- ・発表郡市の研究について